

雷鳴と残雪

THUNDER
AND
SNOW



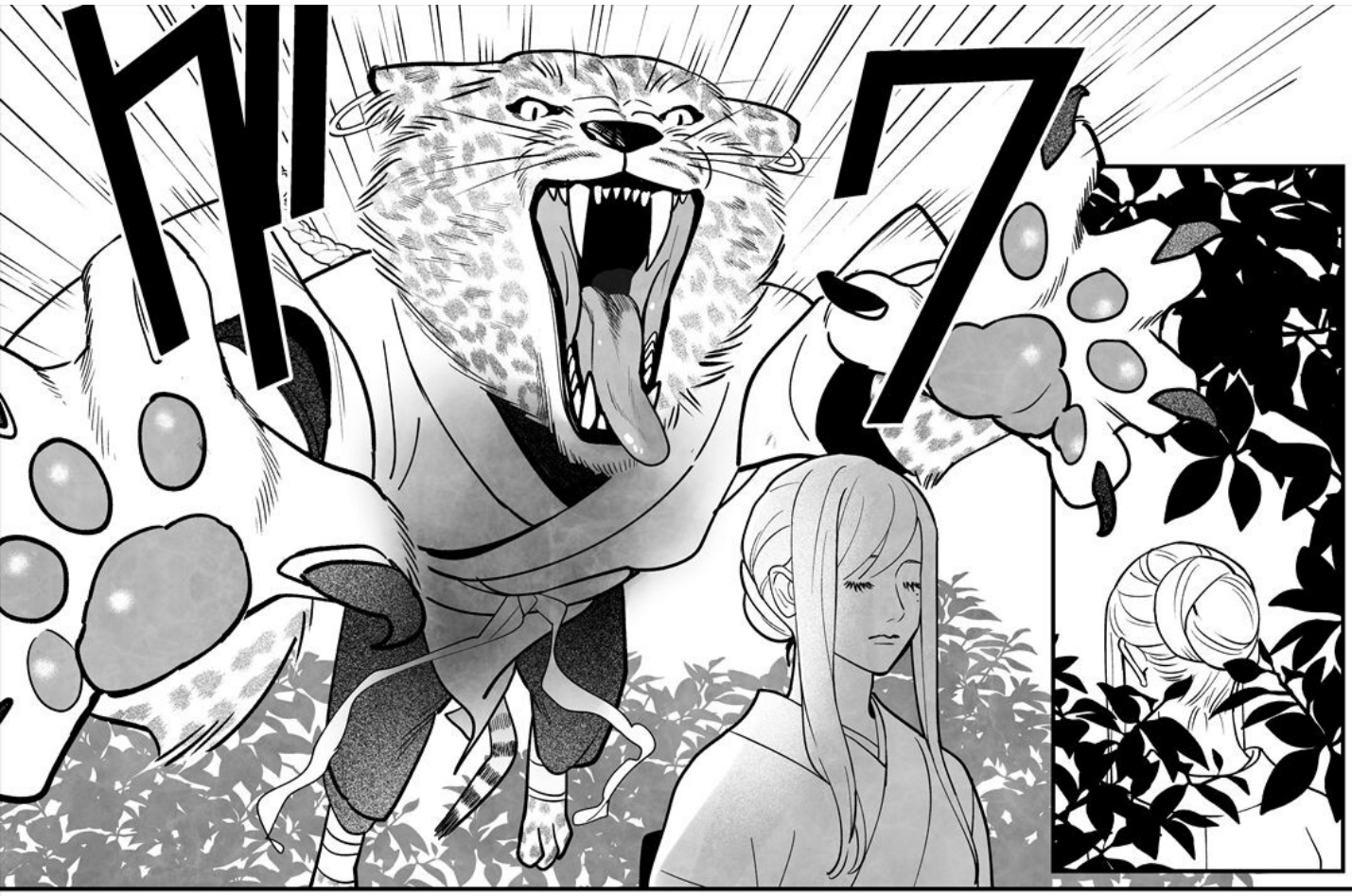

カン
カン
カン
ブロブロ
ものの怪だ！
もののけが出たぞー！
ハチ
ハチ
ハチ
逃げろ！
うわっ！
殺される
ひいいい
ふん


滅びろ人間ども
ビキ
ビキ
ゴゴゴ
ギャウ
ク…
ゴゴゴ
ニ…


!?
ズバン!


なんだ!?
体が重いっ…
立ち上がれねぇ…!
ぐぐぐ…
ぐっ…!
雪乃さん!
ありがとう
ございます
ユラ…
よかった
助かった…
パチ
パチ
何モンだてめぇ…
コンコン


許して欲しいか
ものの怪
これが
この女との
出会いだった
ガサ…

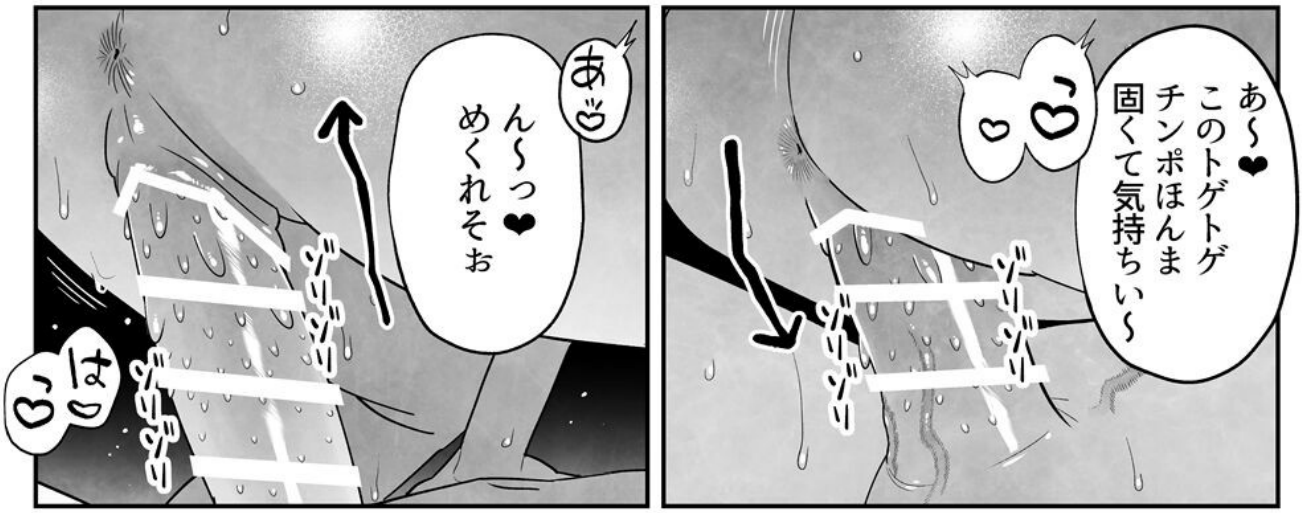

ガブ
ガブ

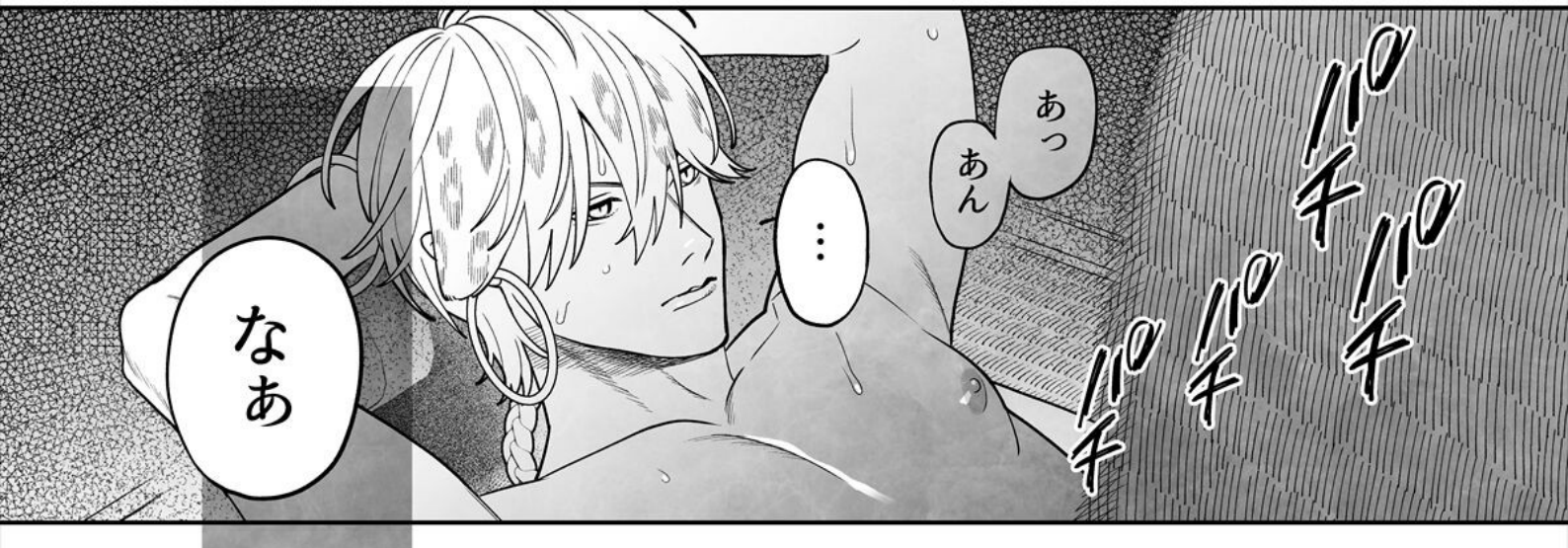

フィ
ズ
ガブ
にゃ！
またお前か


ただの人間のくせして
こりない奴だ
俺達と同じような技を使うバカ強い女


俺は奴に触れる
ことすら出来ない
コンコン
突っ込んでくる
だけで芸の無い奴
でも
腰かけとしては
優秀かもな
フフ
俺を見逃したこと
後悔させてやる
ドンドン
あはは
ウフフ
それで〜
この前化かした
人間の男がー
クスクス
もうほんま
おもろくて〜
ふぅん


あ♡
あ♡
はぁ
あ♡
パチ
ブルン
ブルン
パチ
パチ
パチ
パチ
パチ
パチ
パチ
あ♡
あ♡
はぁ


あ～❤
このトゲトゲ
チンポほんま
固くて気持ちい～
♡
♡
ジリジリ
ジリジリ
あ♡
ん～っ❤
めくれそぉ
は♡
ジリジリ
ジリジリ


パチ
パチ
パチ
あっ
あん
…
なあ


最近その人間の事ばっかり考えてはるね
クスクス
あ？誰だよ
その頭の中の人間この近くの村の領主の妻やで？
知らんだん？
領主の妻…
ゴロ
チッ…頭の中勝手に覗くんじゃねぇっていつも言ってんだろ
ああん❤
知ってるか？不思議な力を持つ盲目の女
あぁ
あの人間原因不明の病で長くはないらしいぞ
チュン
チュン
俺の知らない奴の情報


聞いたぞ
お前もうすぐ
死ぬんだってな
ニヤ
俺が手を
掛けなくても
そのうち弱って
おっ死ぬわけだ！
ニヤ
あぁ
そのとうりだ


ハサハサハサ
こいつは仲間か？
しらねーよ
キャあああ
ザワザワ
強イチカラ…
女…私ノ一部トナレ…
ボコボコ
イラ…
あぁ？
雑魚が何言ってんだ
この女は
ハーン


俺の獲物だぞ！
プス
！
ボコ
ボコ
フラ
ポォ


ぎゃあああ
おい！
！
ぐっ

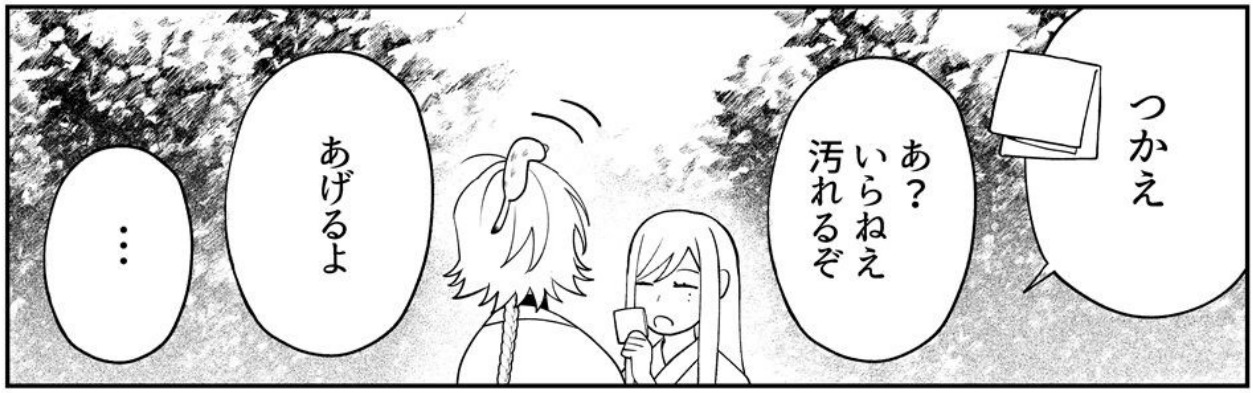
ァァァァ

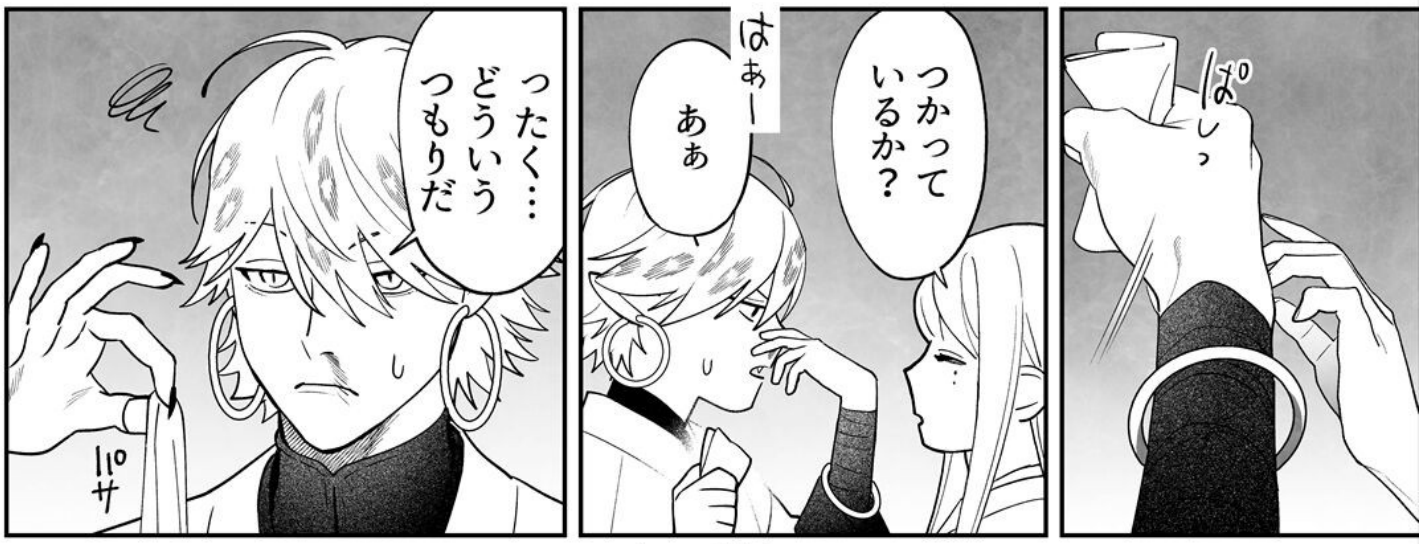
春になっても
溶けずに残った日陰の
雪みたいな女だと思った…



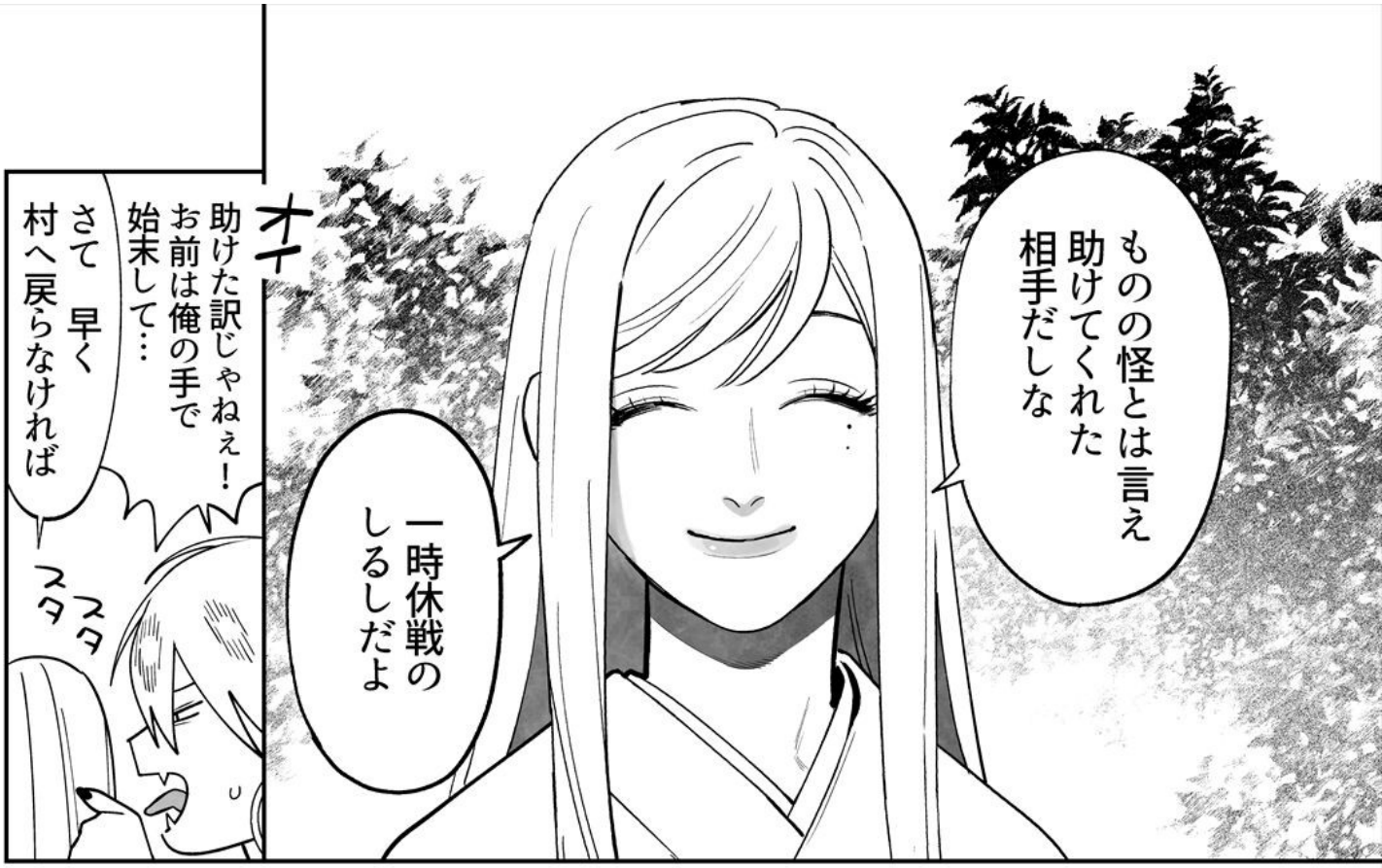

おい
ペチ
ペチ
おきろ
わ!!
はぁ
重かった
ばっ
ここは
どこだろう…
森だ
…だろうな…
チュン
チュン
チュン
アアアア


ポタ
なんだ？
血？
！
どこか怪我をしたのか？
ただの鼻血だ
落ちた時打ち所が悪かったのかも


つかえ
あ？いらねえ汚れるぞ
あげるよ
…


ぱしっ
つかっているか？
はぁー
あぁ
ったく…どういうつもりだ
パサ

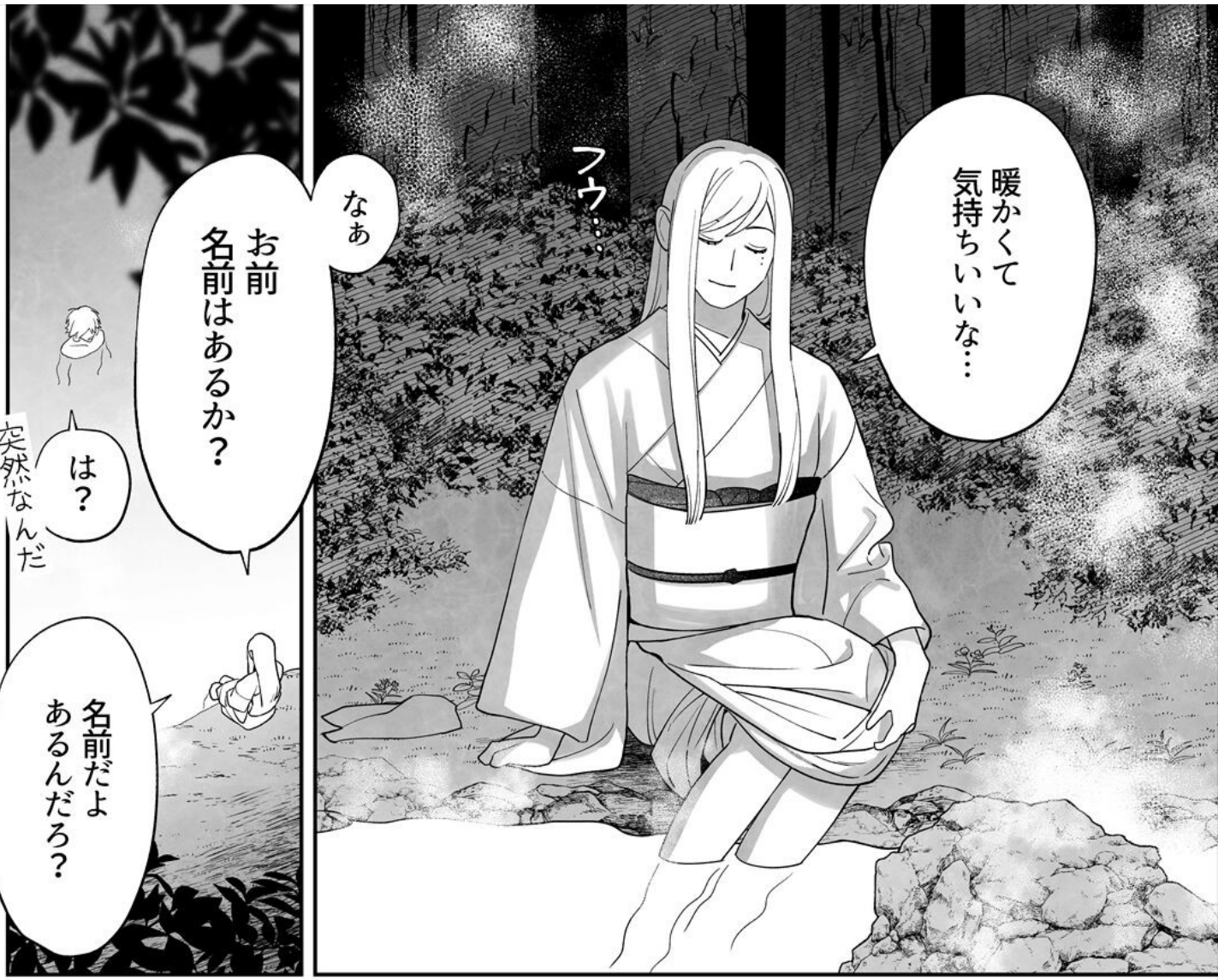
つかってない


ものの怪とは言え
助けてくれた
相手だしな
一時休戦の
しるしだよ
オイ
助けた訳じゃねぇ！
お前は俺の手で
始末して…
さて　早く
村へ戻らなければ
スタ
スタ


もうすっかり
暗くなって
しまったんじゃ
ないか？
ホー
ホー
ああ


立ち止まって
どうした？
硫黄の臭いだ
暖かい…
温泉だ
チャプ
ホカホカ


ザザザザ
ニャー
流石に疲れた
俺ははここで休む
お前とは
ここで解散だ
私も
そうしようかな
スル…
ギョ
イヤ
プ…
…


暖かくて
気持ちいいな…
フウ…
なぁ
お前
名前はあるか？
は？
突然なんだ
名前だよ
あるんだろ？


勘違いすんじゃねぇよ
お前と馴れ合うつもりは
私は雪乃というんだ
…
はぁ…
…シャオだ

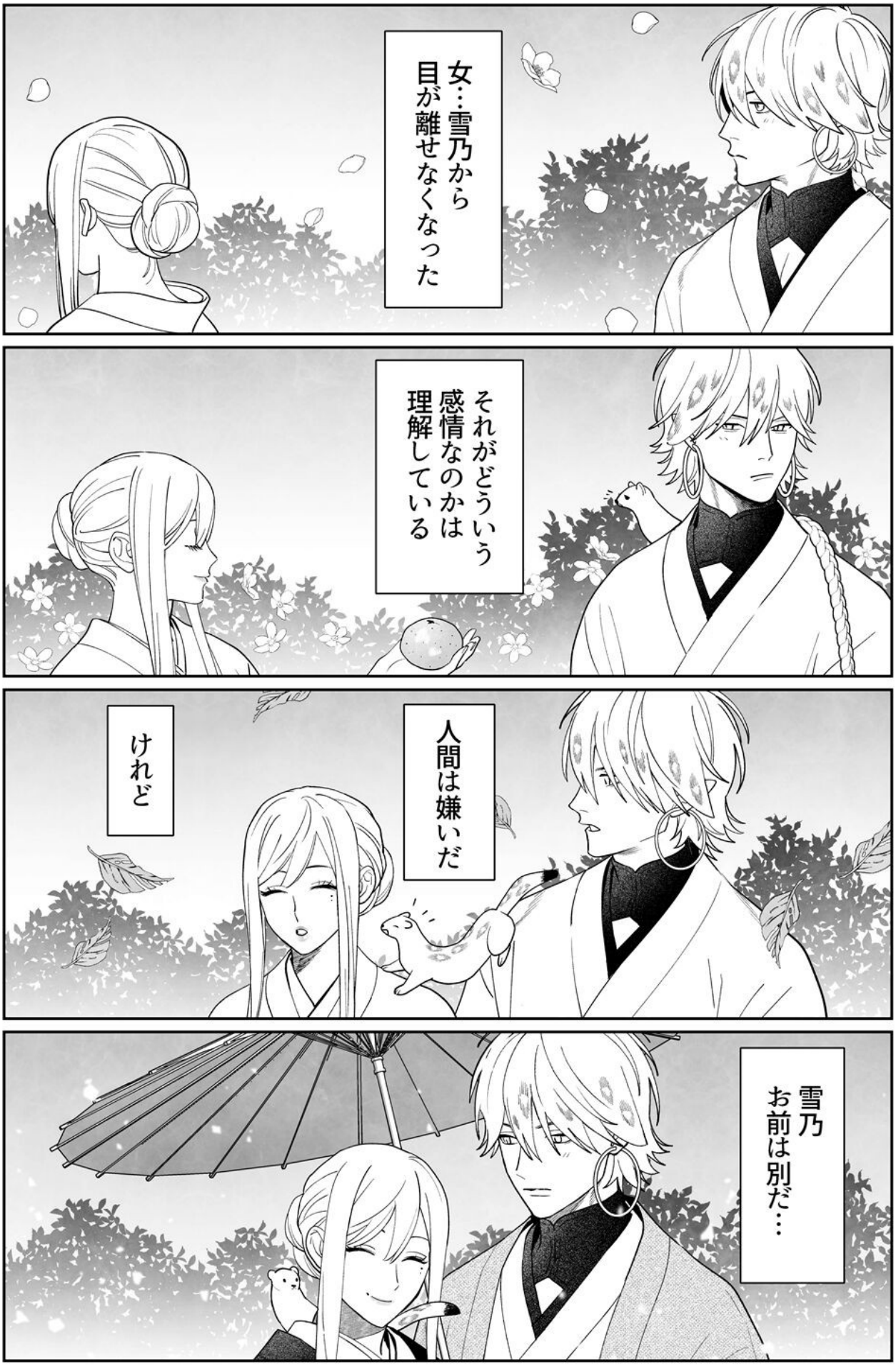

シャオ…
へぇ
変わった名前だな
プカ
プカ
ザブ
み
プカ
プカ
こいつは？
俺の毛玉から
生まれた
ものの怪だ
へえ
シャオは
何のものの怪
なんだ？
豹だ
豹にはまだ
会ったことがないな…
猫の大きい奴だろ？
お前…
ん？


目が見えないのになんでわかるんだ？
見えてるよ
おぼろげな気配みたいなものだけどね
ゆらぁ…


でも
触るとより鮮明になる
ムニュ
ムニュ
あれ？人じゃないか
ペタ
ペタ
おおいやめろ
ペタ
ペタ
化けているのか？豹だというから…
さわ
おい
さわ
ゴロ
やめろって！
グッ

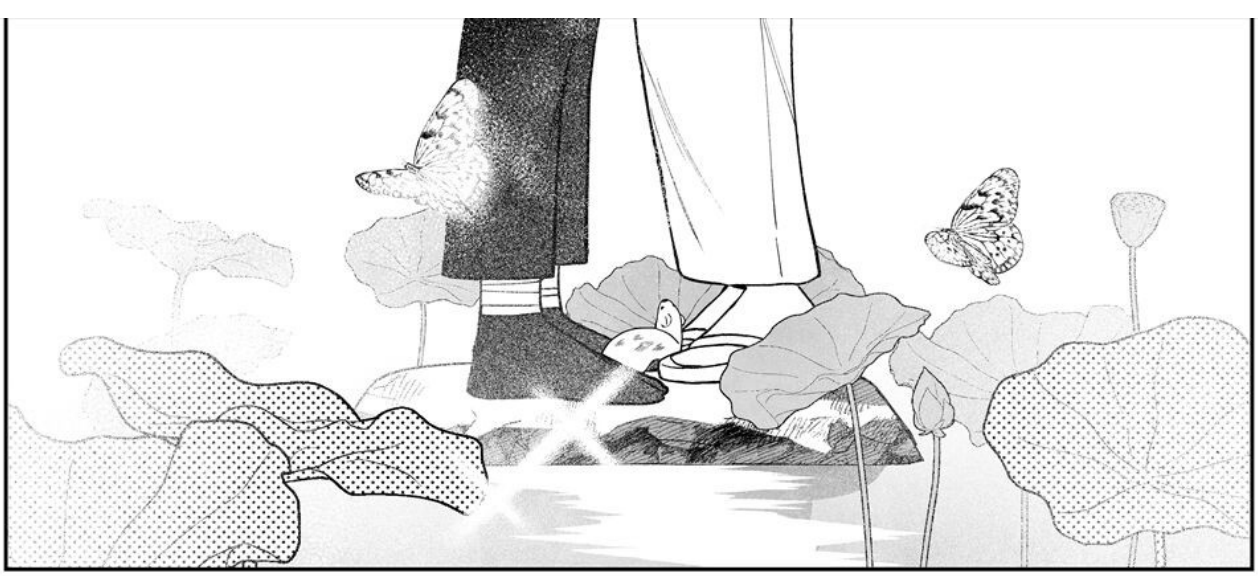

ギュ
にこっ
手も上手に
化けられているな
カー

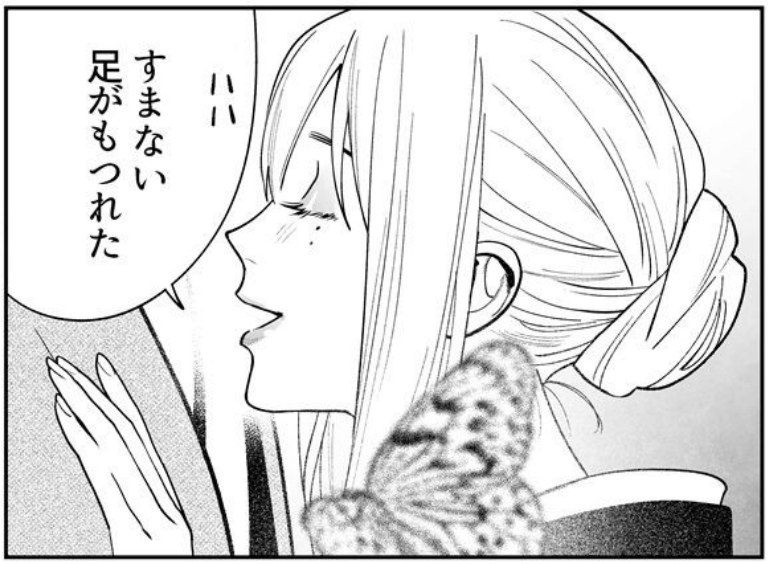

シャオ
そこにいるのか？
…いたら悪いか
最近悪さをしていなくて
えらいぞ
お前が邪魔を
してるんだろう
今は作戦を立てて
ところなんだよ
フン
あれから…


女…雪乃から
目が離せなくなった
それがどういう
感情なのかは
理解している
人間は嫌いだ
けれど
雪乃
お前は別だ…

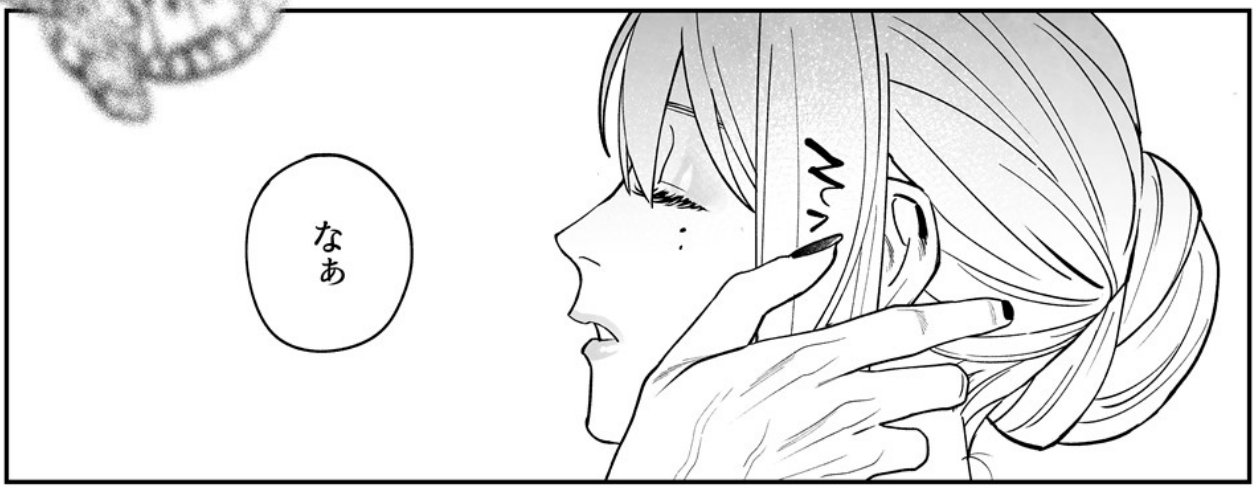

3月下旬
ヨロ
あっ
なの
レッ


とんっ

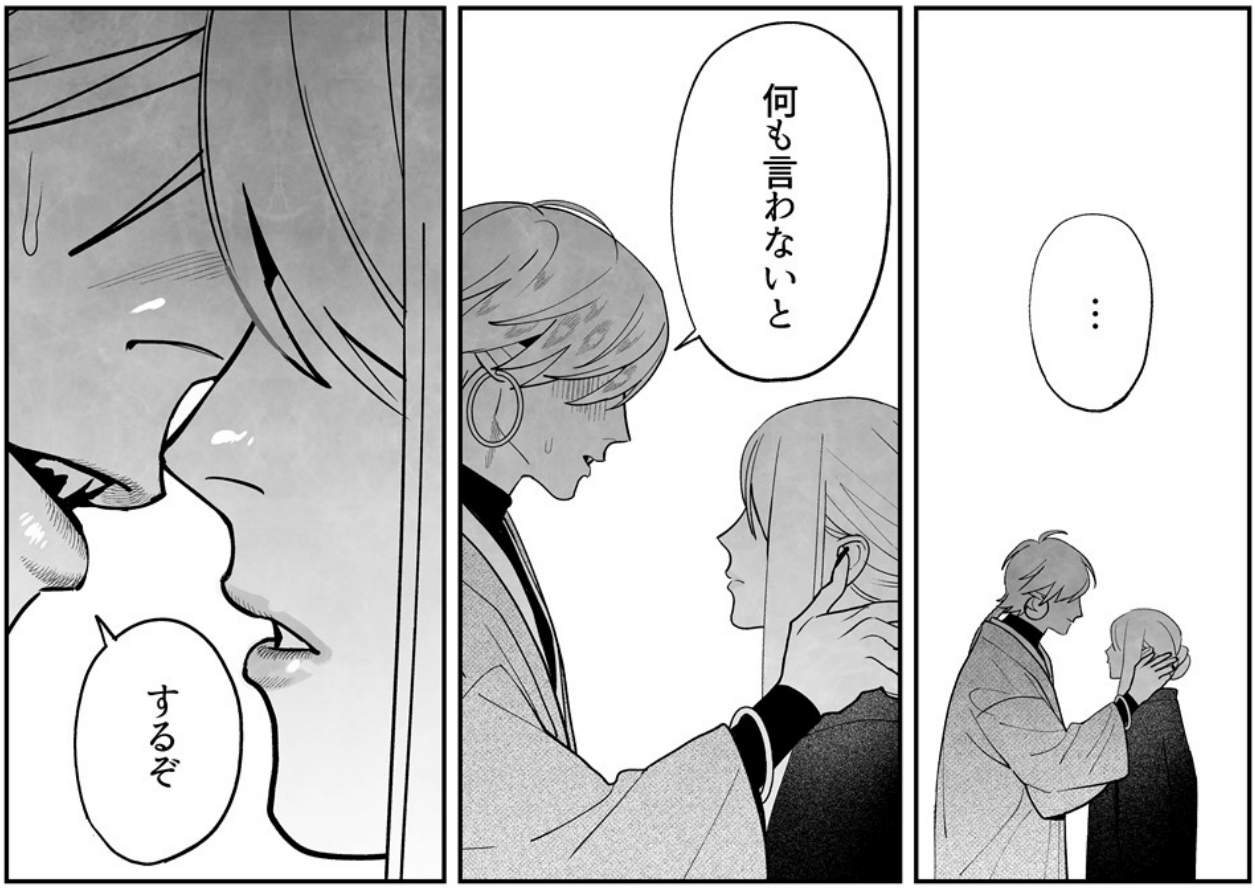


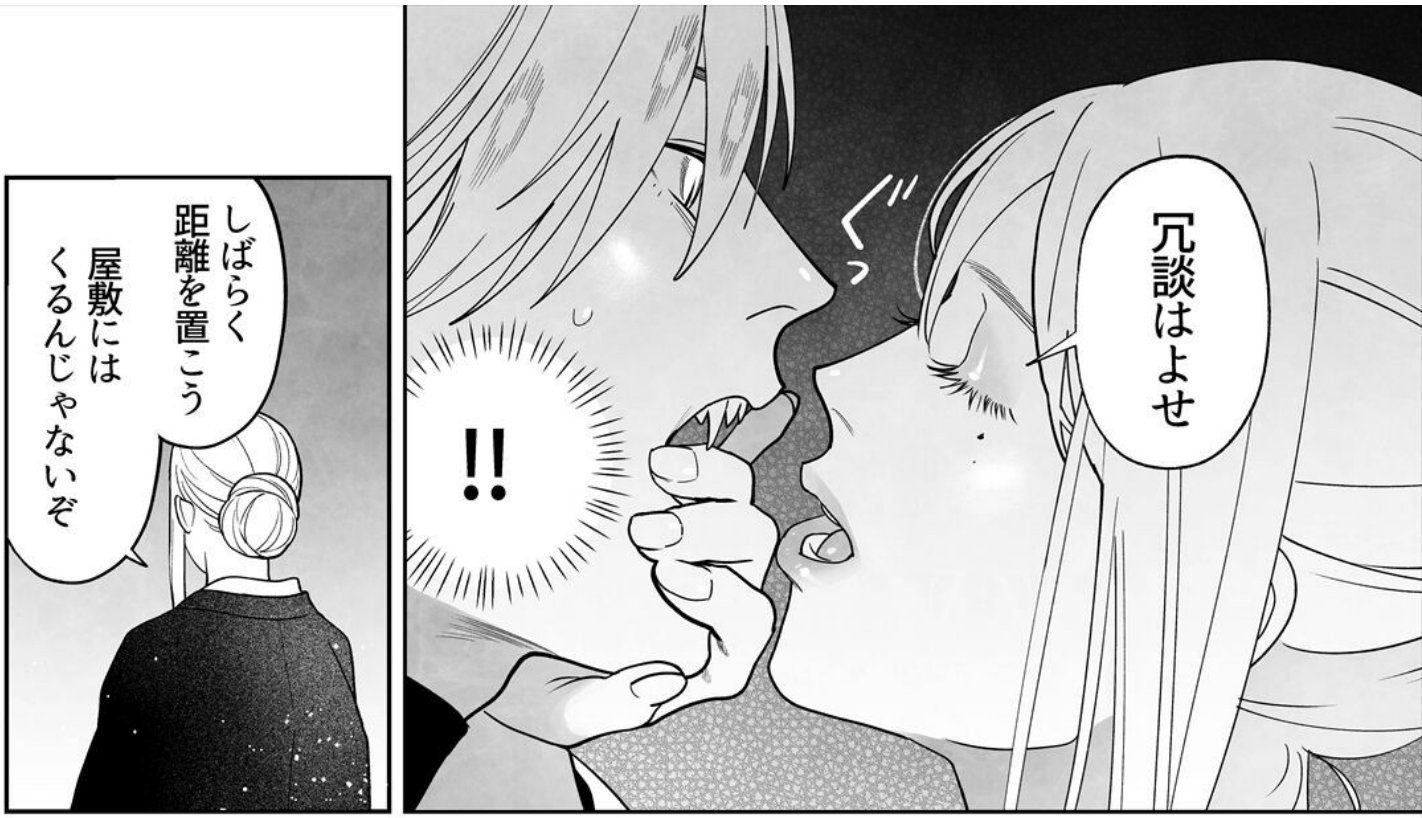

すまない
足がもつれた


雪乃
好きだ


なぁ


口づけしていいか？
ドキ
ドキ


…
何も言わないと
するぞ





なんで…!?


ひょこ!!!
この俺をフるなんて
あの女どこまでプライドを
傷つければ気がすむんだ
ザザザ
いいもん
持ってるな
イイ匂いだな
ありがとう
もっと
膣を閉めんか!
ああっ!
イッ…
あー…
よい膣壁じゃ
パンッ
パンッ
パンッ
いやらしく
吸いついてきおる!
あっ
はっ


はあ
はあ
はあ
そういえば
雪乃
近頃男と会っているようだなワシには全て筒抜け
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ああっ
滅多なことは考えるで無いぞ
そんな！奴はただのものの怪です
うっ
うあっ
旦那様の邪魔だてをしないように見張っていただけです…！


お前は
ワシのものだ
あっ
んっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
じゃ
じゃ
じゃ
はぁ
はぁ
もちろんで…す
身も心も
旦那様のものですっ
！
フル
フル
パンッ
パンッ
しっかり体に
刻み込んでやらんとな！
どうじゃ…！
ここをこねられると
気持ちえかろう
うっ
っ
ぐっ!!
ビクッ
ビクッ
ドクッ
ドクッ


あっ
パンッ
パンッ
パンッ
ウッ
ウウッ
たまらん！
うっ
ベロォ
ちゅ
ろろろ


!!
サ……


フラ
フラ…
ドン
ドン
ねぇ
あんた
クス
クス
遊んでかへん？
好きやろ？
この顔
クス
クス


あっ
激しいっ
あっ♡
あっ♡
あっ♡
そこっ
もっと突いてぇ
あっ♡
はぁ
はぁ
ぐす
ぐす
あーあー
かわいそぉ
泣いてしもて


この顔の娘にフラれたん？
クスクス
パーン
あ〜ッ
頭ん中勝手に見んじゃねぇよ！
クスクス
怖い顔
耳障りなんだよ
その顔で喋るな狐
パーンッ
パーンッ



雪乃の匂い…




シャオ
ゆきのっ…！
うっ！！
ビクン
ビクン


チュン
チュン
…
パサ
ボー
…何やってんだ
俺は…
はあ…
大変だ！
俺見ちまったんだ！
バサ
バサ
何をだよ
きっ
聞いてくれよ！


この土地には
繁栄を願って
土地神に娘を嫁に捧げる
風習があるんだ
だけど土地神の正体は
女達から生気を吸い尽くし
生きながらえる
大ムカデの
ものの怪っていうのは
有名な話だよな？
いや…
知らんけど
それが？
なんと
その土地神が
この村の
領主だったんだよ！
え～！
うそだ～
まじなんだって！
俺見たんだよ！


領主が嫁である
盲目の女から
生気を
吸い取ってる姿を！


おい
カラス
カァ？
その話
詳しく聞かせろ
ザワッ…


屋敷には
来るなと言ったのに


奴は
ものの怪だぞ！

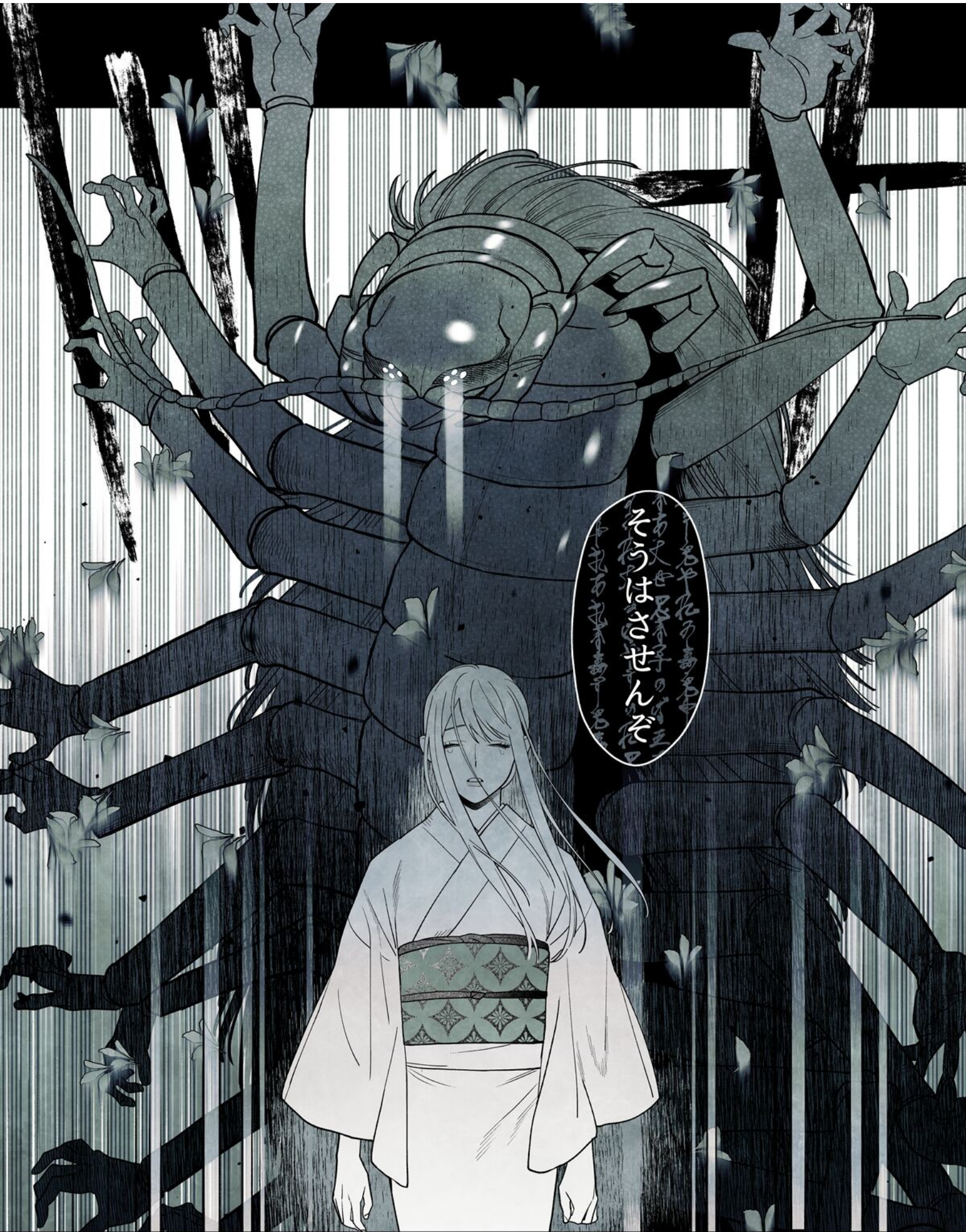

コシ
コシ
わかってる…
そんなこと随分前から
皆わかってるんだよ…


だったら何で!?
奴の言いなりになる
必要はない…！
お前が出来ないなら
俺が殺してやろう！
やめてくれ


私も初めは抵抗したさ
フラ…
フラ…
だがその復讐で一度村に酷い被害を出した…
逃げ出せば私以外の別の誰かが選ばれる…
何もしないことが一番平和なんだよ…
じわ…
もう力も弱まって使えない…
お前私の命を欲しがっていたな…
今なら頃合いだぞ…
ぱっ

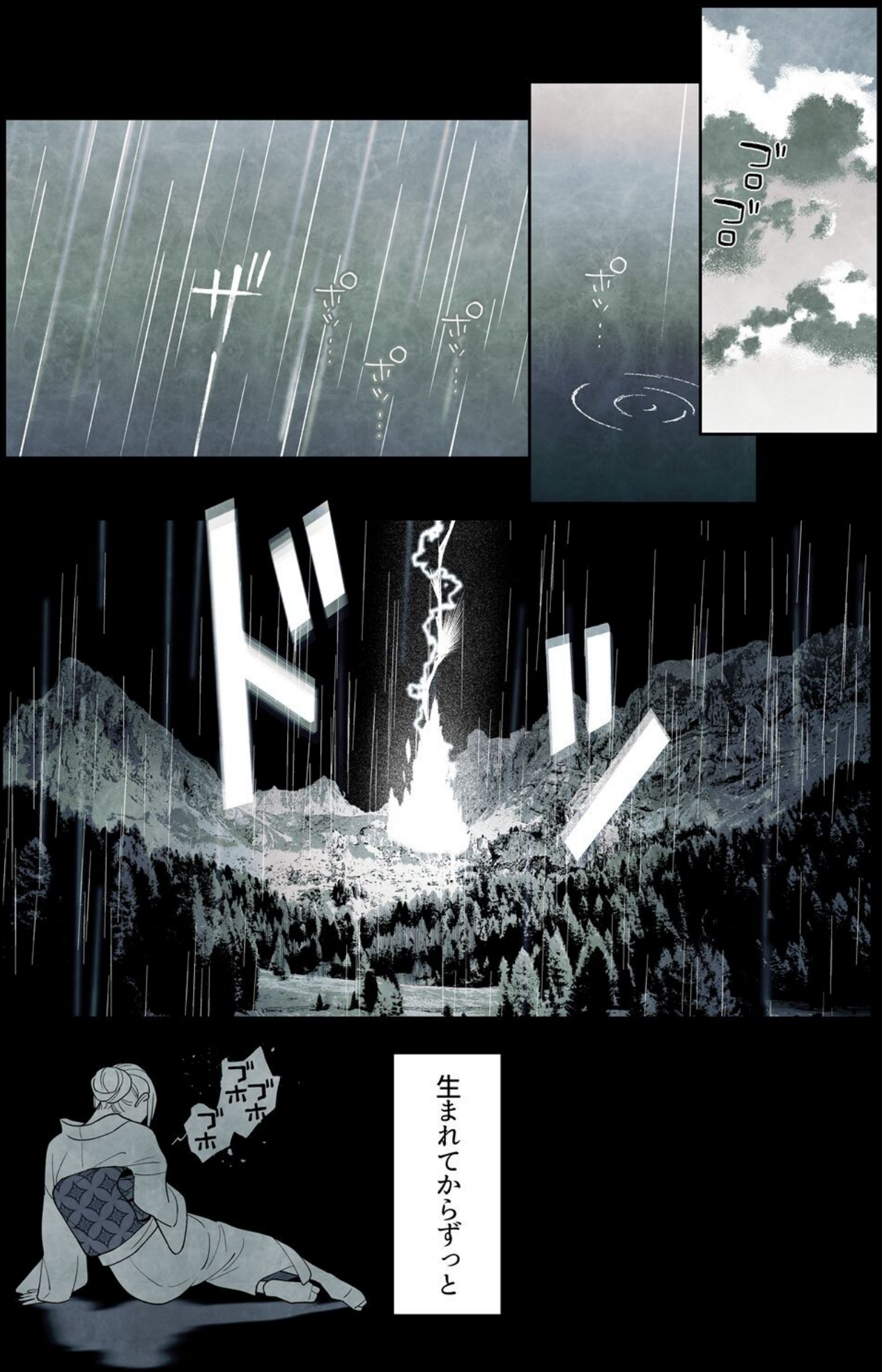

ザッ…
ビクッ
止めろ…！
ふっ
くちゅ


私のことは忘れてくれ
ぐ…
私は一人でも大丈夫
ダメだ
お前が平気でも
俺にはお前が必用なんだよ
だから死ぬな！
シャオ…


そうはさせんぞ


!!
雪乃はワシの上質な生気袋
骨の髄まで吸い尽くすまでは
手放すわけにはいかぬ
ザワ
ザワ
ザワ
あ…
ボト
ボト
雪乃
後で仕置きじゃ…
また子を孕ませて
やろう
クク…
…っ
チロチロ
その汚ねぇ手を
はなせ…
バチッ
力づくで
引き剥がしてみろ
小僧！

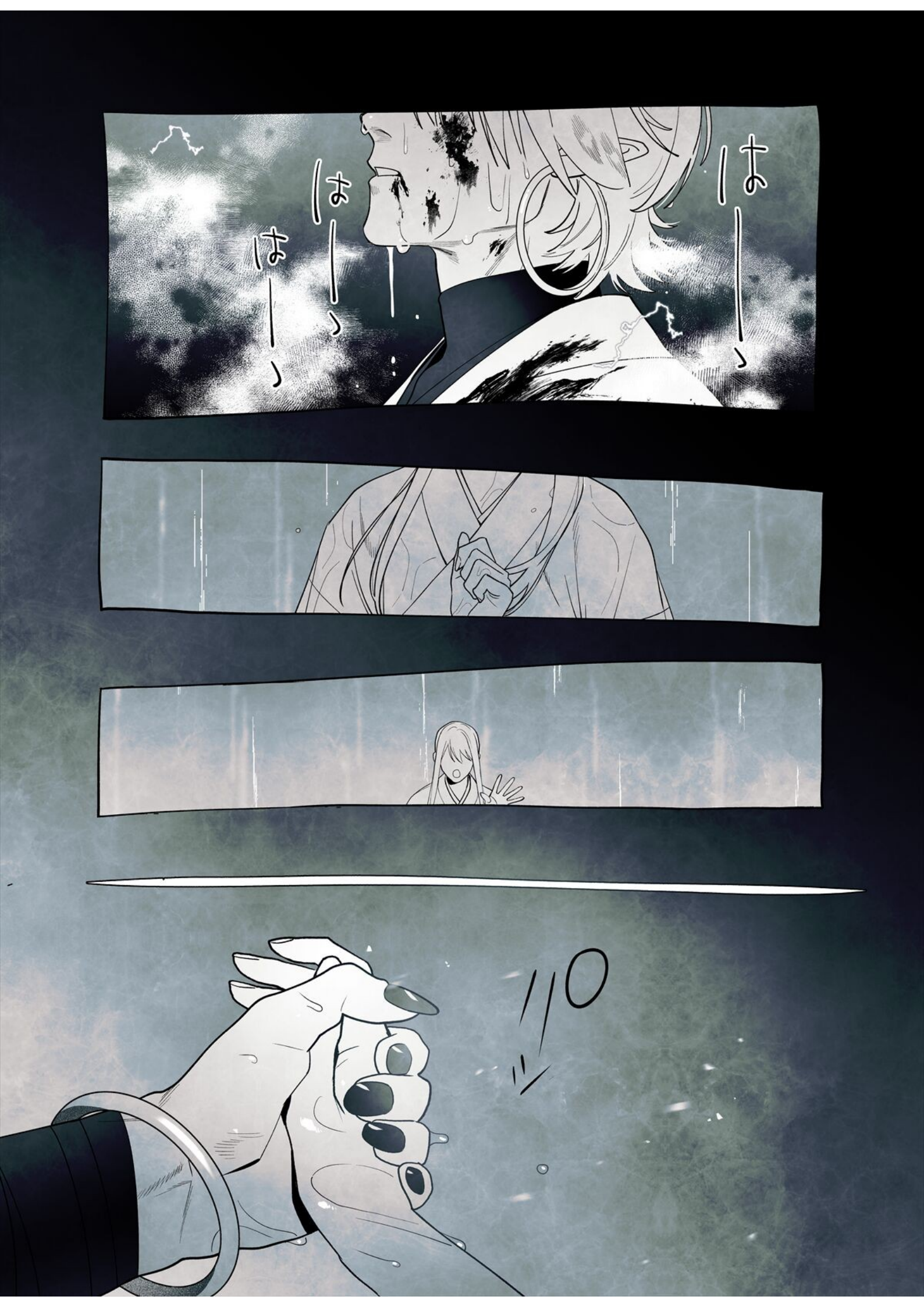

その腕全部
もぎ取ってやる！


ゴロゴロ
ポツ…
ポツ…
ポツ…
ザー
ドドド

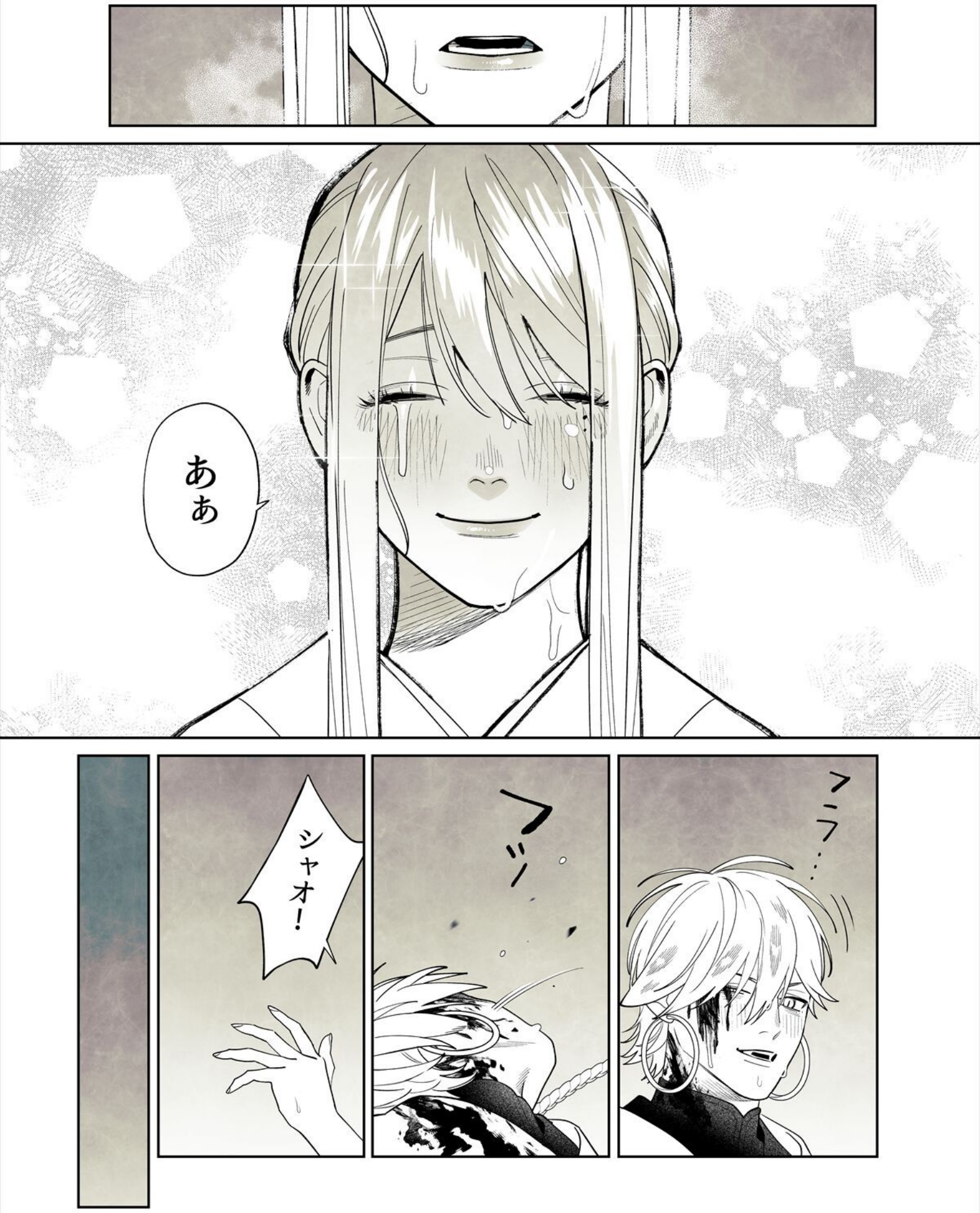

私は不思議な力のせいで
周りから特別扱いされてきた
土地神の妻として
選ばれた時も
名誉なことだと
両親は喜んでいた
期待に応えなければ
なぜなら私は特別な
力を持って
しまったから
だから嫌だとか
助けてなんて
誰にも言えなかった
このままずっと
ずっと…
ラッ
ラッ
ラッ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ

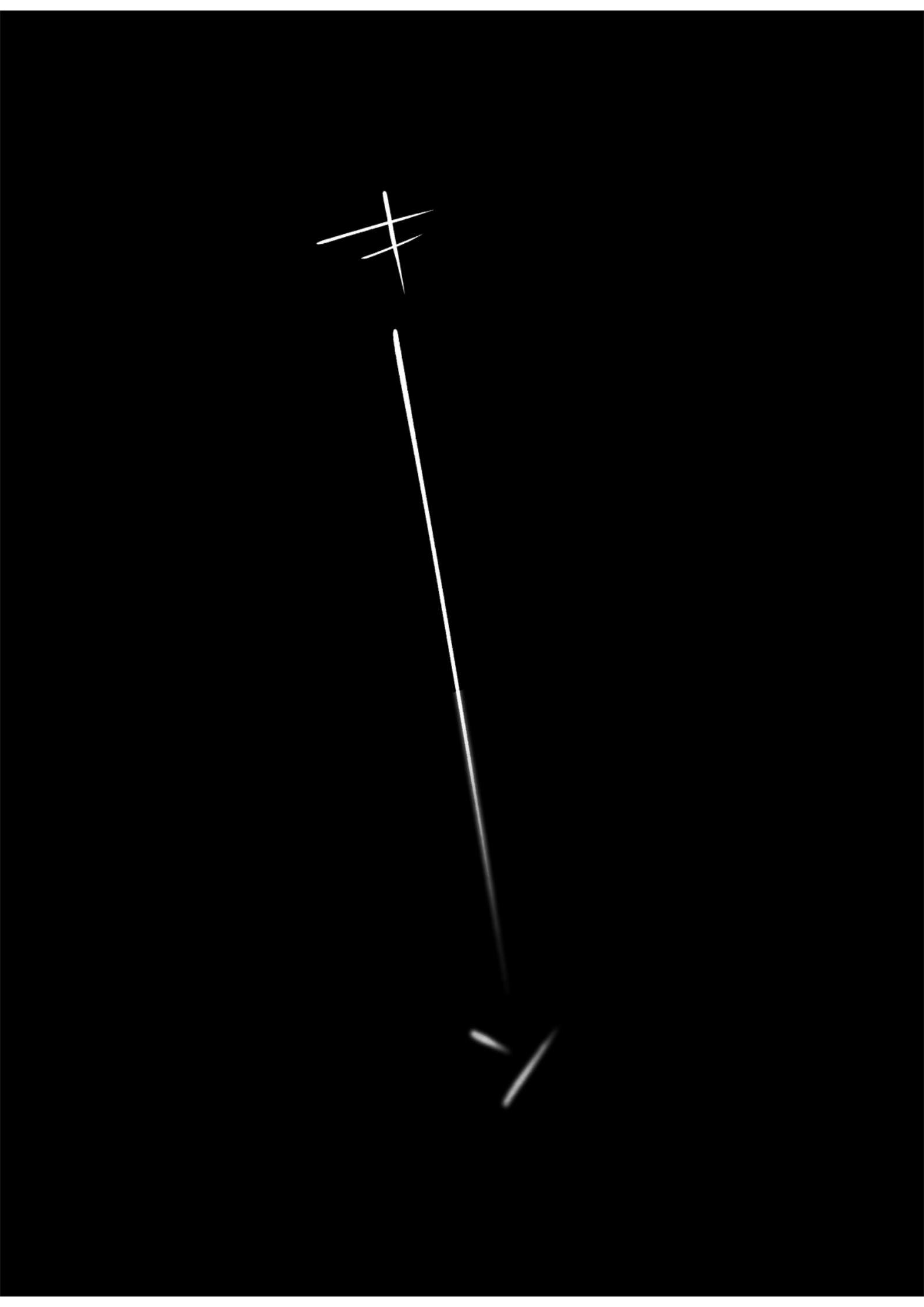

ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ
がっ
うっ
んっ
ぐう
ーっ!!
ヒュルルルル
死ぬまで搾取され
続けるんだと思ってた


あなたに会うまでは…
ァァァァァ


はーっ
はーっ
はーっ


雪乃
俺の伴侶になってくれ


ああ
フフ…
フッ
シャオ！




…どこだ
ここは…
屋敷だ
だが領主は…
奴はもういない


よく眠れたか？
カッ
雪乃
いっ！
ズキッ
大人しくしろ
傷が開くぞ
フッ
体は？
私の方はあれから
すっかり良くなった
ぐっ
そうか…
よかった…
ホ…
すっ


ちゅ
！
これを
したがっていたろ？
…ゆ
カァ


雪乃！
カリはう
何してる
安静にしてろ
フフッ
しっ…
したい
ダメか…？
…雪乃
カアア


はぁ…
雪乃…
はぁ…
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
雪乃の
柔らかい唇に舌…
はぁ…
はぁ…
ちゅ
ちゅ
ちゅ
グイ
ふふっ
くすぐったい
ツンツン
リンュル
はぁ
ちゅ
はぁ
ちゅ


おい
笑うな
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ハサ
ハサ
フフ
だって…
照れるだろ
ドキ
ドキ
フフッ
ずっと…
スリ…
ずっと
欲しかった女が
手に入った…
バサ
バサ
不思議な気分だ…
始めて雪乃と
出会った時は
敵同士だったのに…
ユラ…
パキ
パキ
何モンだてめぇ…


110
今から
そんな女を
フー…
フー…
ゴク…
抱く
むにぃ…
ザ…


はぁ…
はぁ…
雪みたいに
真っ白で綺麗な
肌なのに…
暖かい…
ピク
ちゅ
ちゅ
ちゅ
んっ
こそばい
目の前一杯の
雪乃の優しい匂い…
ちゅ
ちゅ
ふふっ
ザリ
ザリ
なでなで
ゴロゴロ
笑うなってんだろ
ザリ
ザリ
ちゅ
んっ


ゴロゴロ
スリスリ
ちゅちゅッ
好きだ…
その喉を
鳴らす音
雷の音
みたいだな
ムッ
集中しろよ
つつつ
くちゅ
あっん♥
ビク
ビク
濡れてる…
んっ
くちゅ
くちゅ
とろ…
くちゅ


くちゅ
くちゅ
くちゅ
あっ…
ビク
ビク
ゴ○ゴ○
ガリ
ガリ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ああっ…
はぁ…はぁ…
トン
トン
ンっ！
ビグ
ビグ
雪乃のぬるぬるな…
トロ…
内臓…
くぱぁ
ヒク
ヒク


早くここに俺の魔羅を入れたい
待て！そんな所！
ちゅ
あっ
やめっ
ビク
ビク
あっんっ
ザリザリ
はぁ
はぁ
んっ♡
はぁはぁ…
フーッフーッ
ぐっ
ちゅ
ちゅ
ピン
あ♡
なで
なで
ゴロゴロ
あ…
ん…
はぁ…♡
ぷく…
ぷく…
プロプロ


はぁ…
はぁ
ぴく…
ぴく…
雪乃の甘い声に股が反応する…
ぺろ
ぺろ
は？
雪乃…
そろそろいいか…？
は？
んふ！
ぷるん
んっ
ちゅ
ちゅ
！
あぁ…早く入れてくれ
はぁ
はぁ
はぁ


ミシ
痛いかも…
はぁ
はぁ
ん…
バサ
バサバサ
…
パサ…
人のモノと
形が違う
ぺろ


ぴと
さりっ
ぷにっ
でも
柔らかいし
ん
ぷにっ
ズキ
ズキ
本当だ
舌と同じで
ザラザラトゲトゲ
してるな
痛くなさそうだ
入れていいか？
あぁ
ぐりっ
さりっ
待ち望んだ
ぷっ
んっ


ぴたっ…
雪乃との交合(性行為)…！
…
入ってないぞ
そこは股の間だ
ここだぞ
ズイ
！
わっ
わかってる
どうした
さっきから
借りてきた
猫みたいだ
もしかして
緊張して
いるのか？
フフ
してねえよ
なめんな…
ムッツラ…
メアア


ズブッ
ビクッ
！
そんな
いきなりっ…
あ♡
ズリュッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あっ～♡
これが本物の
雪乃の中っ…
ぐう…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あ♡
はぁ……！♥
深いっ…♥


想像していたよりも
ずっと気持ちいいっ
気を抜くとすぐ
果てそうだ…
ふっ
ふっ
ゴロ
ゴロ
な〜
な〜
ちゅ
ちゅ
ちゅ
はぁ
はぁ
はぁ
ふっ
ふう
ふっ
あ
あ
あ
パチ
パチ
パチ
ふう
ふう
ふう
優しくする
つもりだったのに
腰止まんねぇ
んっ…ん〜♥
ヌル〜
トゲがひっかって
すごい…っ！♥
グプ
グプ
グ
あっあ〜〜〜♥


ヌルヌルで暖かくて
ぴったり吸いつく…
はぁ…はぁ…
雪乃痛くないか？
もっと雪乃を感じたい！
ぁぁ
もっと奥まで!!
まっ激しっ…！
あっ
あ♡
パチ
パチ
パチ
パチ
♡


気持ちいい
あっ
シャオ
もっとゆっくり
はっ
はっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
気持ちいい
あっ…
そこっ
んっ
いいっ…！
パチ
パチ
パチ
パチ
んっ…中で
どんどん
大きくなってる
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
ジク
ジク
ジク
はぁ
はぁ
あっ
んっ
あっ
早く…
はっ♥
はっ♥
雪乃…
パチ
パチ


この女の中に出したい…！
そっ
そんなに…
んっ！
がっつくな
あっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
パチ
パチ
パチ
パチ
はぁ
はぁ
私は
逃げたり…っ
しないっ！
んっ
ブロブロ…
はぁ
はぁ
ちゅ
ちゅ
パチ
パチ
パチ
はぁ
あっ
雪乃…もう
出そうだ…
はぁ
中に出したい
はぁ
出して
いいか？
パチ
パチ
パチ
パチ
あっ
あっ
ザリ
ザリ
ぐぐ
ぐぐ
はぁ
ああ…
来てくれ
はぁ


ビクッ
ビクッ
ふうっ！
びゃるうっ
びゃ
んっ♥
ビク
ビク
どくっ…
あ…はぁ…
はぁ…
ビク
どくっ…
んっ…
温かい…
ムラ
はぁ…
はぁ…
あっ
パーンッ
パーンッ
パーンッ
あっ
もう一回


待てっ
あっ
少し休んでからっ
んっ
トン
トン
パチ
パチ
パチ
パチ
にちゃっ
にちゃっ
にちゃっ
無理だ
待てない
またどんどん
上がってくる
あっ
んっ
スリ…
パチ
パチ
はぁ
あっ
好き
雪乃
好きだ
パチ
パチ
キュ
パチ
パチ
フフッ
急に
どうした？
雪乃…
好き
ぺろ…
ぺろ…
はぁ
はぁ
愛してる♡
ギュ


私もだ
んっ
は…
は…
元気だな
パチ
パチ
パチ
まだ出来るのか…
んっ
あっ
ズッ
ボッ
ボッ
ズッ
若いな…
んっ
グイ
ポター…
ポター…
…
余裕そうだな
はぁ
はぁ
はぁ


俺だけ必死でバカみたいだ
俺とのまぐわいに集中しろ
してるだろ？私はお前みたいに若くないからそう見えるだけで…
ちゅ
ムッ
はぁ
べろっ
あっ♡
ああっ
嘘じゃ…
嘘つくなよ
グイ
ズッ♥
とんとん
パチ
ズチャッ
そこっ
ん？♡
ビクビクッ
びくっ
あっ♡


パチパチパチパチパチパチ
あっ
あっあっあっ♥
きもちいい
ここか？
まてっ♥
止まれっ
あっ
ん♥
あン♥
ビクビク
くぷ
どうだ
俺に集中して
きたか？
んっ♥
おい 待てと…
レロ
動くなっ…
んっ♥
ビクッ
ちゅ
ちゅ
んっ
ふうっ
ん～っ
ん～っ
ちゃ
ちゃ
ちゃ


ガッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
！
いきなり
締め付けがきつく…！
ちゃ
ちゃ
ちゃ
きゅうう
動けな…！
くちゅっ
やば…♡
くちゅっ
出っ…！
プル
プル
ふう
くちゅっ
ふう
くちゅっ
ビリ
ビリ
ビクン
ビックッ
ビックッ


ぴゃ
ぴゃるるるーー
びくっ
ぴゃ
ぴゃ
ちゅこ
ちゅこ
なんだこの…
ぷは
脳がしびれる
きもち良さ…
はぁ…
はぁ…
はあ
はあ
まったく…


良すぎて死ぬ…
はーっ
ビクッ
ビクッ
はーっ
…♡
ん…♥
はぁ…
はぁ…
くた…
少しは手加減しろ…
病み上がりのくせになんて体力だ
グイ
ん
♡
おい
話を聞いていたか…んっ
ちゃ
ちゃ
ちゃ
ちゃ
ぎゅう…
もう…


あンっ！
俺の魔羅は気持ちいいか？
はぁ
はぁ
もっとぐちょぐちょにかき回して気持ち良くしてやる
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
あっあっ出るっ！
んんっ
すごい雪乃っびしゃしびしゃだここ気持ちいいか？
あっあっあっ
じゅぼっ
じゅぼっ
じゅぼっ
じゅぼっ
じゅぼっ
ガク
ガク
ガクガク
びゃー
雪乃
あっあっ
パチ
パチ
パチ
シャオ


ザー
ザー
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴゃ
ぴゃ
んっ
はぁ
一度も
抜かないままで
ちゅ
ちゅ
何回果てたんだ…？
もう腹がいっぱいだ
はぁ
ゴロン…
あっ
ザラ
ザラ
ぬるぬる〜っ
あっ
ちゅるんッ
んっ
ビクッ
ビシャ


はあ
マル
ザラ
ザラ
マル
はあ
抱き合うほどに
思いがどんどん強くなり
あっ♡
理性のない獣に
近づく気がする
んっ
あンっ…
バチ
バチ
はぁ
んっ
あっ♡
はぁ
ぐっ
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ
あっ♡
はぁ
はぁ
バチ
バチ


あっ
ハーッ
ハーッ
ぎゅ
はっ
あっ
カリ
カリ
ぐにゅ
んっ
今だってこの真っ白い
首筋を思いっきり噛んで
どこにも行かないように
組敷いてしまいたい
はぁ
ふふっ
はぁ
ちっ
ビクン
ビクン
ぎゅ
カリ
カリ
あっ
は♥
くる
くる
あぁ！
ダメっ…
びしゃあーっ♡


チカ
チカ
ビク
ビク
あ…
はぁ
んっ…
はぁ
待てっ！
果ててる
最中なのにっ♥
はぁ
あっ♥
パンッ
チュッ
パンッ
チュッ
パンッ
チュッ
んっ…♥
もう…！
んっ
あ～っ
あっ♥
雪乃…！
雪乃…！
はぁ
はぁ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
だすぞ雪乃！
はぁ
はあっ…！
でるっ！
はぁ
ああ
いつでもいいぞ
はぁ
はぁ

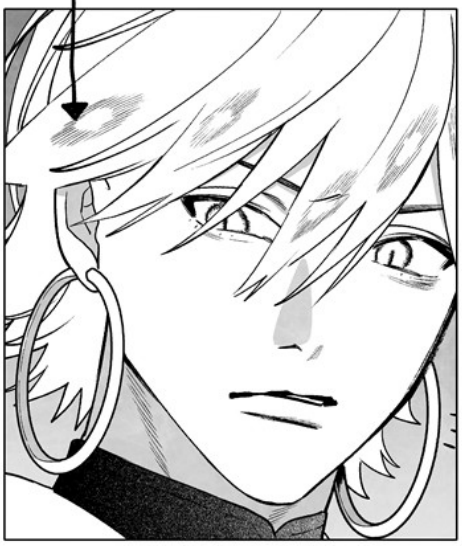

あ…♥
ヒクッ
ひゅるるるるッ
イルル…
こんなにも誰かを
愛したことがなくて
押さえがきかない…
どぶっ
ひゅ
びくびく♥
はぁ
はぁ
ん…
まだ中で
どくどく
してるぞ…
本当に
元気な奴だ…
どろぉ～♥
モフ…
嫌だ…


はぁ
はぁ
シャオ姿が？
ポタ…
ポタ…
疲れて…
変化が解けた
クタクタな
わけだ
獣になりたく
ないのに…
もう
終わりなのか？
スリ
スリ
ゴロ
ゴロ
ふふっ
はぁー
はぁー
ペ
ペ


…
くる
シャオ お前は
本当に可愛いやつだな
ふわ
ふわ
なっ
なにっ!?
そんなに
生き急ぐな
いやだ
いやだ
私たちの時間は
たっぷりあるだろ?
すり
にこ
ゴロ
ゴロ

ゴロゴロ
愛してるよ
シャオ
お前は俺を獣にも
人間にもたらしめる

キャラ紹介



シャオ(19〜25歳)

大陸から来たものの怪
正体は豹の「雷獣」

過去色々あって人間に恨みがあり
雪乃に出会う前は人里を襲っていた



雪乃(30代)

不思議な力を持った人間
土地神の捧げものとして
土地神である領主の嫁となる
過去に土地神の子を出産した
経験がある



シャオの子分

シャオの毛玉から
生まれたものの怪
貂【テン】のような姿を
している



化け狐の遊女

人の頭の中を覗き
幻影を見せて
油断した隙に相手の
生気を頂く

仲間には狸や猫がいる



領主

正体は土地神と
いい伝えられてきた
大ムカデのものの怪

シャオと雪乃の動向は
ムカデの目を通して
領主に監視されていた



噂好きのカラス


ゴロゴロ
ゴロゴロ
ぱち
こんな季節に雷だ
お前の仕業じゃないなら雹でも振りそうだな
み


！
ビキッ
雪乃
昨日のので体が痛い
これでは今日は動けそうにないな…ふふっ
ゴロゴロ
このまま二度寝でもするか…
スル…
おわり

あとがき

どうも初めましての方は初めまして異種姦好きの人面シジミと申します!
少しですが虫姦と獣姦という人を選ぶ要素があるのに
最後まで読んでくださりありがとうございました…!
いつもはストーリー部分カットして全ページエロシーンという構成に
してますが今回は時間あるしストーリー描くか…と思い描きだしたら
100ページ近くにもなっちゃったし、結果エロがおまけみたいになっちゃいました笑
エロ漫画って難しいや！

皆さん猫科のペニスと舌がトゲトゲザラザラなのは知ってましたか？
猫科のペニスにトゲがあるのは痛みによる刺激で排卵をおこし
メスを確実に妊娠せるためらしいです。
舌がザラザラなのは毛繕いと獲物の肉を削ぎ落とすためのものらしいです…汗
猫科の特徴は攻撃性高くてエロには向かないなとは思っていたのですが
柔らかいトゲ設定にして描いちゃいました!

少しでも楽しん読んでいただけたなら幸いです!
それではまた次回作でお会いしましょう!

※お願い
・無断転載＆無断翻訳禁止です。
・コメントには人面シジミ以外の名前は出さないように
よろしくお願いいたします。

作者:人面シジミ
タイトルロゴ:筆耕 墨れ 様